

☆第46回全国高等学校総合文化祭（将棋部門） 第58回全国高等学校将棋選手権大会 出場



大洲高等学校 囲碁将棋部 3年
村上 創太 さん

村上さんは、5月3日(火)に愛媛県生活文化センターで開催された全国高等学校総合文化祭愛媛県大会の将棋部門で見事準優勝に輝き、8月3日(水)から東京で開催される全国大会への切符を手に入れました。

村上さんが将棋を始めたのは小学校3年生の時。祖父の持つ古い将棋盤を見つけたことで興味を持ったそうです。その後は友達と楽しむ程度でしたが、転機が訪れたのは中学1年生時の叔父との対局。全国大会の経験もある叔父に完敗した村上さんはその悔しさからいつかは叔父に勝利したいと将棋に打ち込み始めました。地元や松山市の将棋センターで腕を磨き、今では叔父に負けることは無くなったと頬を緩ませます。

現在は部活動だけでなく、インターネットで多くの人と対局したり動画配信を見て学ぶことで実力をつけ、今回の全国大会出場を果たしました。

「藤井^{そうた}聡太棋士の発想にはいつも驚かされる」と話す村上さん。「得意の居飛車^{いびしや}（飛車の駒を動かさずに攻める戦法）で予選を突破し、決勝トーナメントに進みたい」と大会への意気込みを語ってくれました。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.65 大洲高等学校肱川分校

みなさんこんにちは。
大洲高等学校肱川分校3
年の菊池^{しずく}瞳月です。

5月22日(日)に3年ぶり
に行われた第25回おしど
り湖ドラゴンボート大会

では、ボランティアスタッフと選手として参加しました。ボランティアでは、救命胴衣の受け渡しや選手のサポートを行いました。出場されたみなさんへ声をかけたり、ボートの乗り降りがスムーズにできるよう、積極的に活動することができました。また、選手として初めてレースにも出場し、とても疲れましたが、楽しい経験ができました。敢闘賞もいただいて、嬉しかったです。



一回は大洲農業高等学校からです。一

きらめき
ニュース
シリーズ
お知らせ
情報ひろば
図書館
未来を拓く
保健センター
相談・救急

叙勲・褒章・表彰 おめでとうございます

春の叙勲

旭日双光章



元大洲市選挙管理委員会委員長
寺岡 勝のぶ さん
(大洲市肱川町)

春の叙勲

瑞宝単光章



元大洲市消防団分団長
寺尾 秋ひろ さん
(大洲市菅田)

高齢者叙勲

瑞宝双光章



元大洲市立大洲小学校長
西川 弘し さん
(大洲市五郎)

第38回危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章



元大洲地区広域消防事務組合消防指令長
西山 恵きち さん
(大洲市五郎)

第一生命保険(株)から花苗贈呈

第一生命保険(株)から花苗の寄贈があり、5月18日(水)に市役所で贈呈式が行われました。

これは3月に大洲市と第一生命保険(株)との間に結ばれた包括連携協定の連携事業の一環として、大洲市内の教育・保育施設に花苗が寄贈されるもので、今回はサルビアやなでしこの苗を各小学校にそれぞれ50鉢ずつ合計600鉢が贈られることになりました。贈呈式では松本理沙(りさ)松山支社大洲営業オフィス長より「大洲市の未来を担う子供たちのために役立ててください」というとりどりの花苗が手渡されました。





少年・少女空手家が集う

大洲少年空手道大会が5月22日(日)に大洲市総合体育館で開催され、大会には県内の幼児から高校生までの160人が参加しました。

この大会は、県内で少年の部の大会だけが開催されていなかったことから、大洲市で平成10年から実施され今回で23回目迎えました。午前は型の部、午後は組手の部に分かれて行われ、日頃の鍛錬の成果を発揮しようと、熱い戦いが繰り広げられました。



観光シーズンに向けて花壇整備

6月1日のうかい開きを前に、うかい船着場および対岸の肱川緑地公園の花壇整備が5月25日(水)に行われました。花壇整備にボランティアとして参加したのは大洲市公園等施設管理推進協議会のみなさんなど約40人で、会では親しみのある公園づくりを進めるため、年2回の共同作業として、市内中心地にある肱川緑地公園などの花壇づくりを行っています。

この日はマリーゴールド、サルビア、ポチュラカの3種類の花の苗約2,200本が植えられました。



ヒラメの稚魚放流を体験

5月26日(木)、長浜町漁業協同組合が実施するヒラメの稚魚放流事業に長浜小学校の3年生38人と、長浜高等学校の2年生25人が参加しました。この日は放流に先立ち、長浜高等学校水族館部がヒラメに関するクイズコーナーを開催。児童たちは頭を悩ませながらも元気に答えていました。その後、用意された8cm程の稚魚1万匹を高校生と一緒に海へ放ちました。児童たちは「クイズも放流も楽しかった。ヒラメは大きく元気に育てて欲しい」と笑顔で話していました。



ゴミゼロ530運動開催

市民による一斉清掃活動「530運動」が5月29日(日)に開催され、参加した人たちはゴミを拾いながらゴールである喜多小学校を目指しました。

喜多小学校では参加者にうどんが無料で振る舞われ、中学生による吹奏楽の演奏会や市内団体のよさこい演奏を楽しみながら疲れを癒していました。この清掃活動は3年ぶりに実施され約500人が参加し、多くの空き缶やプラスチックごみが回収されました。

夏の風物詩うかがい開幕

大洲の夏の風物詩「うがい」が6月1日(水)に開幕し、開幕式がうかいレストプラザ前の河原でおこなわれました。開幕式では、大洲市観光協会の藤岡周二会長が「先日の観光宣伝隊の出発式では水害とコロナ禍からのうかい観光復興元年としてエールを頂いた。私たちもそれに応えるべく、利用しやすくみなさんに喜んでもらえるうかいを目指していききたい。これから約3カ月続くうかいを一人でも多く利用していただきたい」と述べました。司会は地域活性化のために「JALふるさと応援隊」として活躍する現役の客室乗務員が務め、式を盛り上げました。

開幕式終了後、約130人の乗船客が15隻の屋形船に乗り込み、臥龍太鼓の演奏に見送られながら出発。船内での料理を味わいながら川下りを楽しみました。

辺りが暗くなると、かがり火をともした鶺鴒船が下り始め、うかいショーの始まりです。鶺鴒がアユを捕らえるたびに屋形船からは大きな歓声が上がりました。

今年のうかいは3年ぶりに9月20日(火)までの通常期間で開催されます。



「いつでも、どこでも」スポーツを

市民の健康寿命延伸を目的として、6月3日(金)、株式会社アールビーズと包括連携協定を締結しました。これにより、個人のスマートフォンなどを利用して歩行数をカウントしたランキング表示やポイント獲得、さらにスポーツイベント情報の入手などが可能となり、「年齢を問わず、いつでも、どこでも、だれにでも」ランニングやウォーキングなどのスポーツに参加することができます。写真：オンラインによる締結式



愛媛オレンジバイキングスクリニック開催

愛媛オレンジバイキングスによるバスケットクリニックが6月12日(日)、大洲市総合体育館で開催されました。この日は市内のミニバスケットスポーツ少年団7チームから38人が参加し、平良陽太選手や飯田瑠美トレーナーからドリブルやシュートについてのテクニックを学んでいました。クリニック後は、憧れのプロバスケット選手からサインや握手をしてもらい、多くの子供たちが喜んでいました。



きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急

【オクラのナッツ和え^あ】

材料 (2人分)

オクラ	100g
塩 (板ずり用)	少々
ササミ	60g
酒	大さじ1
ピーナッツ	大さじ2
すりごま(白)	小さじ2
砂糖	小さじ2
醤油	小さじ1

A

作り方

- ① オクラはまな板の上に置いて塩をまぶし、両手で転がして板ずりし、さっと茹でる。
※手が痛くなる場合は、手袋をするか、ビニール袋に入れてお試してください。
- ② ささみは、沸騰したお湯に酒を入れて茹でる。
- ③ 茹でたオクラは斜め切りに、ささみは筋を取り、手でほぐす。
- ④ ピーナッツは細かく砕き、Aと合わせる。
- ⑤ ボウルにオクラとささみを入れて、④で和える。

オクラの栄養

オクラ特有のネバネバした成分は水溶性食物繊維からなるもので、加熱することでネバネバ感がより増します。水溶性食物繊維は腸内での糖の吸収を遅くしたり、悪玉コレステロールの吸収を抑制する働きがあります。

他にもカルシウム・ビタミンB₁・葉酸なども含まれていて、効率よくさまざまな栄養を摂取できる優れた野菜です。



【レシピ提供：健康増進課】

私たちにもできる

SDGs



この目標は、私たちにも身近な生産と消費に関するもので、一言で言えば「資源のムダ使いを無くしましょう」というものです。

私たちは限りある資源とエネルギーを消費しながら生活していますが、現代では地球が作り出す資源やエネルギーの1.5倍を消費していると言われていて、つまり今の人口を支えるためには地球が1.5個必要な状況となっています。

この大量生産・大量消費を代表するものが食料です。日本で食べ残しや消費期限切れによって捨てられる食品ロスが年間600万トン以上で、国連などが発展途上国に支援している食料援助の量を大幅に上回り、世界で飢えに苦しむ人々が必要とする食物以上の量を日本では食わずに捨てているのです。

この現状に対して私たちは、「食材を買い過ぎない」「買った食材は使い切る」「すぐ使う食材は消費期限の近いものを買う」など身近なところから行動を始めることができます。食品に限らず、使う・消費する側として、責任を持った行動を心がけましょう。

文化財

愛媛県指定有形文化財(工芸品)
備前焼大甕 1口
西禅寺所有



西禅寺は、肱川の支流河内川の上流にある手成地区に位置し、康永2年(1343)瀧之城主である津々喜谷氏の菩提寺として創建された寺院です。

この大甕は、高さ90cm、口径49cm、胴径74cmの大きさで、貞治2年(1363)の銘が刻まれています。嘉永6年(1853)、開祖塔再建の際、塔下より発見され、甕の中からは坐禅姿の白骨が見つかりました。寺では、開山の真空妙応禅師が入寂(僧侶が亡くなること)したものと伝えられています。

室町時代初期に焼成されたこの大甕は、市内でも古く、完全形として残っている点からも貴重で、西禅寺開山の歴史を伝える資料として価値の高いものといえます。

(昭和41年4月5日指定)